

= Match Report =

第75回 宮城県高等学校総合体育大会 サッカー競技

決勝

2026年 6月 8日 (月)

13:00 kick off 会場(キューアンドエースタジアムみやぎ)

聖和学園

高校

vs

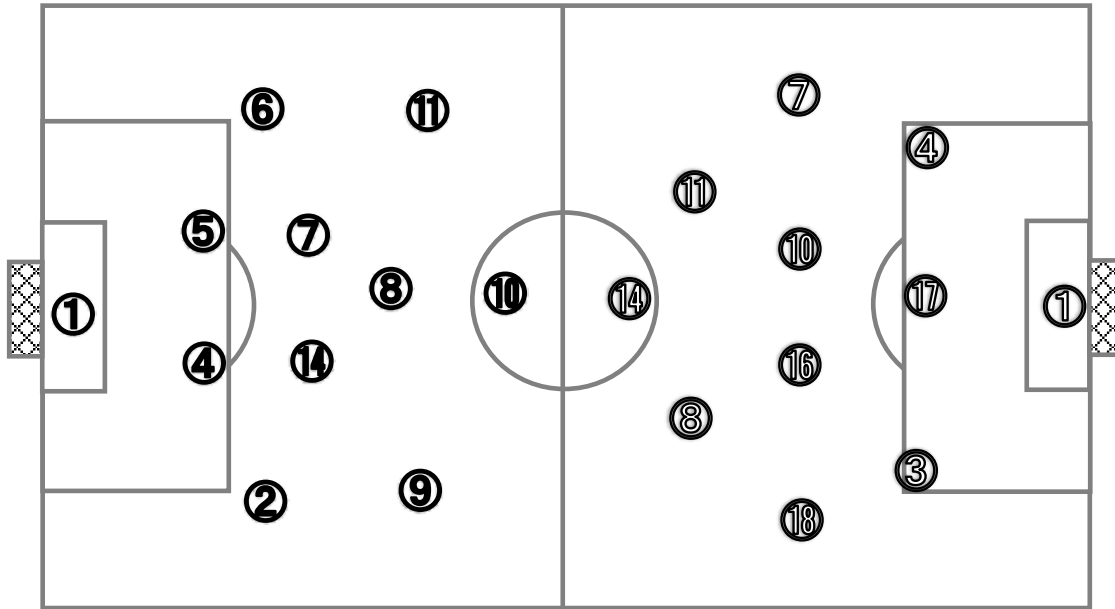
東北学院

高校

0 - 0
0 - 0
0 - 0
0 - 0
4 PK 2

基本システム 1 - 4 - 5 - 1

基本システム 1 - 3 - 6 - 1



【Match Report】

一足早い梅雨入りを思わせる雨は上がったが、スタジアムは依然として肌寒さを感じる空気に包まれている。第75回を数える宮城県高校総体サッカー競技の決勝戦は、昨年と同カードとなる聖和学園高校と東北学院高校との対戦となる。互いに今大会の失点はわずか1。インターハイ出場をかけたこのゲームも締まった展開が予想される。

試合開始のホイッスルとともに、バイタルエリアへの進入をめぐる激しい争いが展開される。聖和学園はピッチ中央付近でMF7菊地・MF8古堅・MF14浅倉が有機的にポジションを入れ替えながらボールを運ぶ得意のスタイル。東北学院はMF10氏家を起点とし、MF8平野とFW11宮本が相手守備ブロックの隙を突いて突破を図る。今季すでにプリンスリーグで対戦して手の内を良く知る相手同士、勝負所ではダブルチームも辞さないプレッシングで攻撃の芽を摘む。26分、聖和学園が得た右CKをMF14浅倉がファーサイドに送る。折り返しのボールに聖和学園のDF4竹内が反応してシュートを放つが、これは東北学院GK1神野の正面。直後の28分には東北学院DF10佐々木が左サイドから右足アウトフロントで技ありのクロス。MF7佐藤がヘディングで合わせるもボールはゴール上へ外れる。両チームとも膠着した展開を崩せぬまま前半が終了した。

後半の立ち上がりも、集中力を切らさないディフェンスラインに両チームとも決定打を与えられない。指揮官が先に動いたのは聖和学園。42分、MF9日下部に替えて昨日の準決勝でもアシストを記録したMF10河村を投入し、攻撃にアクセントを加える。この交代を機に、両チームともゴールへ迫る機会が増え始める。57分には東北学院がFW14常盤のポストプレーからMF8平野のシュート。すぐさま58分、聖和学園のMF10河村がゴール至近までドリブルで侵入する。しかし最後は両GKが的確な判断でゴールを許さない。延長戦に突入する。

延長に入っても手に汗握る攻防が続く。79分、聖和学園のMF14浅倉がゴール正面から精度良くゴール左を狙ったが、東北学院のGK1神野がコースを読んでキャッチ。延長後半開始早々、東北学院はDF4菅原がレッドカードを受け、数的不利の戦いを強いられる。勢いに乗る聖和学園は立て続けにゴールへ襲い掛かったが、東北学院のGK1神野を中心とした粘り強い守備を崩し切ることができない。息詰まるPK戦は聖和学園のGK1木崎が2本を止め、インターハイへの切符を勝ち取った。

記載責任者 所属(宮城県仙台向山高等学校) 氏名(村上 謙造)